

学校だより

令和4年度

前期学校評価号

いきいき
西っ子

学校教育目標 いきいき 西っ子

～重点目標 自分を大切にする子～

前期学校評価の集計

令和4年7月実施

A：よくあてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：あてはまらない

※ 表中の数字は、AとBの百分率の合計

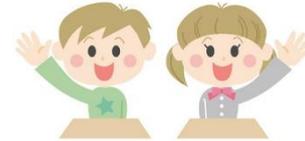
評価項目	職員 評価	児童 評価	保護者 評価	総合 評価
児童は、学校に来るのを楽しみにしている。	100	96	95	97
児童は授業に楽しく参加できている。	96	93	93	94
児童は、学習の内容を理解している。	74	94	92	87
児童は進んであいさつをしている	83	85	76	81
児童は相手の立場などを考え思いやりのある行動ができる。	87	96	92	92
児童は基本的な生活習慣(早起き・早寝・朝ご飯)が定着している。	87	87	84	86
児童は運動や外遊びに楽しく参加している。	100	88	86	91
児童は漢字や計算などの基礎的な学力がついた。	87	93	85	88
児童は家庭学習が習慣化されている。	96	94	96	95
児童は時間を見つけ自ら読書をしている。	87	62	69	73
児童は社会や学校のきまりを守って生活している。	91	93	96	93
児童は場に応じた言葉づかいができる。	83	89	81	84
児童は時間を守って生活できている。	78	93	80	84
子どもの話や相談に対して、親身になって対応している。	100	97	94	97
児童は自分に任された仕事や役割に一生懸命取り組んでいる。	100	98	94	97
児童は学級の仕事など進んで働く。	96	86	69	84
児童は仲間と協力して活動できる。	100	94	89	95
児童は給食や食育指導により、好き嫌いをせずに残さず食べる。	78	92	74	82

学校生活に関すること



きまりを守って生活している項目では、学校でも家庭でも評価が高めで規範意識が高まっていることがうかがえます。場に応じた言葉づかいについては、児童の評価は高めではありますが、高学年のほうが低い評価になっていることが分かりました。

また、時間を守って生活できるでは、三者の評価にズレが見られます。チャイム着席など、多くの子が、時間を意識した行動はできていますが、その後もおしゃべりを続けていたり授業を始める準備ができていなかったりと時間が来たら次の活動を開始する意識が低い子も見られるのが現状です。そういった切り替えをスムーズに行えるような声かけをしていきたいと思います。



学習に関すること

基礎学力の定着の項目で、子供たちと教職員・保護者の大人とでは若干差があるものの概ね良好な結果となりました。それは、家庭学習の習慣化が図れているという結果も一因だと考えられます。自ら読書をしている項目では、学校と家庭での結果の差が顕著に表れています。今年度も親子読書週間を10月後半に設ける予定ですが家庭での読書の推進が課題となっているので、学づくり部を中心に改善策を考えていきたいと思います。

仲間づくりに関すること

学校と家庭での表れが異なる様子がうかがえます。学校では、任された係活動や委員会活動に意欲的に取り組む姿勢が見られます。また、運動会や学年行事を通して、仲間と協力して練習したり、計画したりする姿が多く見られました。みんなのために働くことで得られる自己有用感を高め、家庭でのお手伝いなどにつながれるとよいです。



体づくりに関すること

好き嫌いをせずに残さず食べるという項目で、子供自身は苦手なものでもがんばって食べようと努力していることが分かりました。みんなと食べる給食だからこそ、家では食べない食材にもチャレンジする姿があると思うので、引き続き、栄養士と協力して食育を行っていききたいと思います。

☆前期学校評価について ～8月20日実施「第3回西小学校運営協議委員会」での意見～

- ・職員の評価をみると、やや厳しく見られている様子が見られるがどうしてか？
→教師及び保護者は、子供への期待があるためでは無いかと思う。そのため厳しく評価している様子が見られる。
- ・アンケートの回収率はどうか？
→子供は学習端末を使って回答し、保護者には、マ・メールやQRコードのついた文書を配付し、アンケートに回答していただいた。紙媒体でのアンケートに比べ回収率は高くなった。
- ・学習に関する項目を見ると、高学年にはいないが、低学年では「理解できていない」としている子が数人いるのが気になる。アンケートの答え方によるのかもしれないが、低学年の子は、どういう規準で自分なりに答えたのか気になるところである。
- ・読書への取組について、目標冊数を決めて取り組んでいるのか？
→各学年、目標冊数を決めており、読書記録もとっている。低学年と高学年で記録の取り方に違いがあるが、今年度から読書記録は、学習端末を利用して記録している。
- ・「進んで働く」ことについて、家庭と学校で子供の表れに違いがあるようだ。(学校ではよく働く。家では…)
- ・縦割り活動など学校の活動はどうか？
→未だコロナ禍ということもあり、縦割り活動は、アンケートを実施した時点で1回しか実施できていなかったが、今後情勢を見て実施していく予定。

※ 保護者の皆様には、google formを使ったアンケートへのご協力をいただきありがとうございました。